

いまジェーン・ジェイコブスを語る

-サステイナブルなまちづくりの未来-

講師 窪田亜矢准教授（東京大学工学部都市工学科）

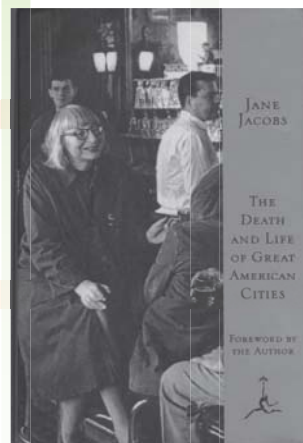
日時 2008年11月29日（土）午後1:30～5:00

会場 梅田スカイビルタワーウエスト 22階 A 会議室
（JR 大阪駅北西約 600m）

● 参加費 1000 円（会員・学生 500 円）

■「彼女 [1916-2006] は 20 世紀の都市計画を批判し、都市をより多様で、高密度、ダイナミックな方向へと再建すべきとラジカルに提案」（ニューヨークタイムズ 2006 年 4 月 25 日号）

■「NY マンハッタンのダウンタウンに暮らし、建築雑誌の記者をしながら都市観察眼を磨き、1961 年に『アメリカ大都市の死と生』を書き上げた・・・学会からは冷淡な評価を得ることが多かった。しかし、米国の都市系ネットが掲載する「20 世紀にもっとも影響力のあった本」ランキングではトップの評価」（矢作弘教授・大阪市立大学）



jジェイコブス『アメリカ大都市の死と生』原著表紙